

琉球大学学術リポジトリ

農林経済科学分野の研究活動および成果報告

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農学部 公開日: 2021-04-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 大田, 伊久雄, 内藤, 重之, 杉村, 泰彦, 木島, 真志, Ota, Ikuo, Naitoh, Shigeyuki, Sugimura, Yasuhiko, Konoshima, Masashi メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/48109

[研究活動および成果報告]

農林経済科学分野の研究活動および成果報告

大田 伊久雄*, 内藤 重之, 杉村 泰彦, 木島 真志
琉球大学農学部亜熱帯地域農学科農林経済科学分野

Report of research activities and achievements (of Agricultural and Forest Economics Area)

Ikuo OTA*, Shigeyuki NAITOH, Yasuhiko SUGIMURA, Masashi KONOSHIMA

Study field of Agricultural and Forest Economics, Department of Subtropical Agro-Production Sciences, Faculty of Agriculture, University of the Ryukyus

*Corresponding author (E-mail: ikuota@agr.u-ryukyu.ac.jp)

研究活動

農業経済学研究室(内藤重之教授, 杉村泰彦准教授)

農業経済学研究室では、農業経済学の理論に基づいて食料・農産物の生産・流通・消費に関する問題から都市農村交流やグリーンツーリズム、農村地域の活性化まで幅広く研究しています。

(内藤重之)

食料・農産物の生産・流通, とくに青果物の地産地消や花きの卸売市場流通, ソバの生産・流通に関する研究, 農家民泊など都市農村交流に関する研究, 園芸産地の形成と産地・生産者のマーケティングに関する研究, 農業・農村の6次産業化・農商工連携に関する研究などを行っており, 最近では農産物のサプライチェーン・マネジメントに関する研究にも着手しています。

(杉村泰彦)

青果物と花きを中心とした卸売市場制度の研究を起点として、農産物流通、マーケティングを多角的に研究しています。近年は、農産物の流通過程における売れ残りの発生に着目して、食品ロスの発生抑制、食品循環資源の再生利用について、流通論の視点からの実証研究に取り組んでいます。

森林政策学・森林経理学研究室(大田伊久雄教授, 木島真志准教授)

森林政策学研究室では、世界と日本の森林・林業・木材産業に関わる諸問題について、経済学・政策学・社会学などの社会科学的手法を用いてアプローチしています。森林経理学研究室では、地球環境の変化や社会経済の発展に伴う森林の劣化や火災、野生生物生息地の減少などへの対策方法を数理モデルやシミュレーションを用いて考察しています。

(大田伊久雄)

世界的視野においては、欧米諸国における持続可能な森林管理や法制度の研究、世界各国と日本の森林認証制度と木材利用の調査などに取り組んでいます。国内では、国有林管理の歴史・小規模私有林の経営問題・森林組合の事業展開・木

材産業や住宅産業の動向把握などを行っています。

(木島真志)

主な研究としては、鳥獣被害の発生や拡散を予測するシミュレーションモデル開発、野生動物の生息地保全と資源利用を効率的に達成する最適な管理の時空間配置を探索する最適化モデルの構築、写真測量による樹木の3Dモデリングと材積量評価手法の開発などを行っています。

2015年度以降の主な成果報告

- 1) 内藤重之, 新開章司, 森高正博, 2015. 食と地域の連携, 「新たな食農連携と持続的資源利用—グローバル化時代の地域再生に向けて—」. 筑波書房, 東京, pp.76-102.
- 2) 大田伊久雄, 2015. スロバキアの林業と共有林経営, 「森林経営をめぐる組織イノベーション: 諸外国の動きと日本」. ボーダーインク, 沖縄, pp. 153-180.
- 3) 内藤重之, 2015. 都市農業と地産地消. 都市問題, 106(6): 98-104.
- 4) 新崎泰史, 杉村泰彦, 内藤重之, 2015. 沖縄県津堅島におけるニンジン産地の展開過程と産地維持の課題, 農業市場研究, 24(1): 34-40.
- 5) Yoshimoto, A., Asante, P., Konoshima, M., 2016. Stand-level forest management planning approaches. Current Forestry Reports, 2(3): 163-176.
- 6) Yoshimoto, A. Konoshima, M., 2016. Spatially constrained harvest scheduling for multiple harvests by exact formulation with common matrix algebra. Journal of Forest Research, 21(1): 15-22.
- 7) Nishimori, Y., Konoshima, M., 2016. Exploring efficient buffer placement for mitigating crop damage by wild boars with an agent-based spatial modeling of foraging behavior. Journal of Environmental Information Science, 44(5): 51-62.
- 8) 大田伊久雄・鎌倉真澄, 2016. 森林認証木材製品の価格プレミアムに関する実証的研究. 林業経済研究,

- 62(3):42-48.
- 9) 長原すみれ, 木島真志, 西森泰之, 大田伊久雄, 2016. 都市空間における緑地の景観的便益を考慮した緑化候補地配置の基礎的研究: 沖縄県浦添市を事例にして. 環境情報科学学術研究論文集, 30 : 225-230.
- 10) 内藤重之, 2016. 日本の花卉流通—その変遷と近年の動向—, 「日本の花卉園芸 光と影 歴史・文化・産業」. ミネルヴァ書房, 東京, pp.69-113.
- 11) 前田千春, 内藤重之, 仲間勇栄, 木島真志, イチャワンディ イン, 2016. インドネシアにおける大学演習林の経営方針が地域住民の利用と保全に与える影響—ボゴール農科大学を事例として—. 林業経済研究, 62(2) : 23-30.
- 12) 内藤重之, 2016. 花き流通の特徴と卸売市場. 都市問題, 107(1) : 20-25.
- 13) 大田伊久雄, 前田千春, 2016. トルコ共和国の森林資源と管理体制. 山林, 1580 : 47-54.
- 14) 内藤重之, 坂井教郎, 大西敏夫, 2017. 「そばによる地域創生—そばの生産・流通と6次産業化・農商工連携—」, 筑波書房, 東京, pp. 1-217.
- 15) 伊村達児, 内藤重之, 杉村泰彦, 坂井教郎, 2017. 沖永良部島における産地仲買人の馬鈴薯集出荷行動. 農業市場研究, 26(1) : 21-28.
- 16) 杉村泰彦, チェウ ティ トウイ リン, 内藤重之, 2017. ベトナム北部の地方都市における安全野菜の流通システム. 農業市場研究, 26(2) : 61-68.
- 17) Ikuo Ota Chiharu Maeda, Marek Geszprych, 2018. Legal and political aspects of agricultural and forest land conservation in Japan, “Legal protection of agricultural and forest lands”, Man and Environment No.1. Polish National Institute for Spatial Management and Housing, Warszawa, pp.131-145.
- 18) 内藤重之, 2018. 体験教育旅行の受け入れによる農村の六次産業化—沖縄県伊江島を事例として— 「食料・農業・農村の六次産業化」. 農林統計協会, 東京, pp. 491-508.
- 19) 内藤重之, 2018. 農産物市場開放と日本の食料・農業, 「現代の食料・農業・農村を考える」. ミネルヴァ書房, 東京, pp.63-80.
- 20) 杉村泰彦, 2018. 食生活・食料消費と日本の食料供給, 「現代の食料・農業・農村を考える」. ミネルヴァ書房, 東京, pp.16-32.
- 21) 大田伊久雄, 2018. 原住民の地理的分布, 人口動態および集落の状況, 「土地所有権の空洞化: 東アジアからの人口論的展望」. ナカニシヤ出版, 京都, pp.107-125.
- 22) Yoshimoto A., Surov P., Konoshima M., Surov D., 2018. Optimal trail routing for recreational management through visual quality values . FORMATH 17, <https://doi.org/10.15684/formath.17.005>.
- 23) 杉村泰彦, 2018. エコフィード生産・流通における細断型ロールペーラの活用とその意義, 「自給飼料生産・流通革新と日本酪農の再生 (日本農業市場学会研究叢書 18)」. 筑波書房, 東京, pp. 205-219.
- 24) 杉村泰彦, 2018. 卸売市場制度の「周縁的機能」に対する評価: 卸売市場研究において残された論点について, 「新制度卸売市場のあり方と展望」. 筑波書房, 東京, pp.57-63.
- 25) 前田藍, 内藤重之, 杉村泰彦, 2018. 遠隔園芸産地における物流システムの構築—沖縄県花卉園芸農協を事例として—. 農業市場研究, 27(2) : 1-9.
- 26) 内藤重之, 2019. 花き, 「農産物・食品の市場と流通」. 筑波書房, 東京, pp.124-137.
- 27) 陳碧霞, 大田伊久雄, 2019. 琉球列島におけるフクギ屋敷林の保全と活用: 聞き取りによる住民意識調査から, 「島嶼地域科学という挑戦」. ボーダーインク, 沖縄, pp.49-66.
- 28) 杉村泰彦, 内藤重之, 2019. 島嶼地域の内発的発展における都市農村交流の意義, 「島嶼地域科学という挑戦」. ボーダーインク, 沖縄, pp.67-81.
- 29) 前田藍, 杉村泰彦, 内藤重之, 2019. 沖縄県小ギク産地の安定供給システム—沖縄県花卉園芸農業協同組合を事例として—. 農業市場研究, 28(1) : 23-33.
- 30) 出花幸之介, 内藤重之, 杉村泰彦, 2019. サトウキビ大規模経営における夏植え株出しトラッシュマルチ体系の展開. 食農資源経済論集, 70(2) : 1-14.
- 31) 杉村泰彦, 小林富雄, 2019. フードバンク活動における食品の収集方式と品揃え形成—フランス バンク・アリマンテールの事例—. 農業市場研究, 27(4) : 1-10.
- 32) Konoshima, M., Yoshimoto, A. 2019. Balancing timber production and habitat conservation of Okinawa rails (*Gallirallus okinawae*): Application of a harvest scheduling optimization model in subtropical forest in Okinawa, Japan, Journal of Mountain Science. J. Mt. Sci., 16(12): 2770-2782 doi.org/10.1007/s11629-019-5655-9.
- 33) 高良美沙希, 大田伊久雄, 木島真志, 2019. 沖縄県における木育活動の現状と課題. 琉球大学農学部学術報告, 66:1-22.
- 34) 金城光菜野, 木島真志, 大田伊久雄, 2019. 沖縄県における木造住宅建築の現状と普及への課題. 琉球大学農学部学術報告, 66:23-32.
- 35) Konoshima, M. Isa, Y. 2020. Optimizing strip-cutting patterns for sustainable timber production under spatial constraints in Okinawa, Japan, Journal of Environmental Information Science, 1:12-21. doi.org/10.11492/ceispapersen.2020.1_12.
- 36) 内藤重之, 杉村泰彦, 前田藍, 2020. 生産者組織における種苗生産の海外展開—沖縄県花卉園芸農協を事例として—. 農業市場研究, 28(4) : 20-26.
- 37) 中野幹久・内藤重之, 2020. サプライチェーン・リスク管理に関する研究の動向と課題—戦略—構造—プロセス—パフォーマンスの枠組みを使って—. 京都マネジメント・レビュー, 36 : 19-37.
- 38) 木島真志, 2020. 森林経営の経済的評価指標「森林計画学入門」. 朝倉書店, 東京, pp.119-131.